

# 日米欧における食品包装規制の最新動向

～日本のポジティブリスト制度 2020年6月1日施行 2025年6月1日完全施行～

## 講師：藤井均氏（藤井包装技術事務所 所長）

食品用器具・容器包装のポジティブリスト制度が2020年6月1日に施行後、食品衛生法改正に伴い追加された器具・容器包装事業者の義務の遂行が必須となっている。追加義務は、①合成樹脂器具・容器包装には、国が定めるポジティブリスト収載物質のみを使用すること②合成樹脂容器包装の適正製造管理（GMP）を行うこと③販売・製造・輸入者は、器具・容器包装がPL制度に適合していることを利用者に説明すること④合成樹脂製の器具・容器包装製造事業者は、自治体に届出を行うこと。

現在のポジティブリストは2020年4月に作成したもので、現在引き続き施行日以前に使用実績のものを調査中である。そのため5年間の経過措置を設け、2025年に完全施行となる。経過措置期間中は、使用実績のあるものは現在のPLに掲載が無くても使用できる。使用実績がある物質は、継続確認既存物質リスト案として公表され経過期間中において使用可能である。

本講では、器具・容器包装事業者に追加された義務の内容及び対応、現状のポジティブリストの状況と完全施行までの検討状況について説明する。講演項目は、ポジティブリストの収載物質（ポリマー、コーティング材、添加剤・塗布剤）、対象範囲、継続確認既存物質リストの検討状況、経過措置中のポジティブリストにない物質の扱い、器具容器包装製造事業者の製造管理、ポジティブリスト制度適合の情報伝達、器具・容器包装事業者の届け出、新規物質の申請制度、現状未収載物質の収載追加情報等である。

更に、PL制度への適合要件及びPL収載物質の食品衛生法の適合要件について説明する。PL収載物質は、溶出量等の基準値が設けられていないが、食品衛生法で定める溶出量等の規格基準（重金属の溶出量、疑似溶媒への溶出量等の基準）に適合しなければならない。告示370号に定められた一般規格及び個別樹脂規格、食品衛生法の適合要件について概説する。

欧州、米国ではすでにポジティブリスト制度が実施されている。欧州でのポジティブリスト制度を説明し、プラスチック規則、ポジティブリスト、疑似溶媒、適合性テスト（成分移行試験）や、この欧州規則への適合性の確認手順について解説する。米国でのポジティブリスト制度を説明し、容器包装の連邦規則集、プラスチック、紙・板紙、添加剤等の個別規格、安全性試験について解説する。また、欧州・米国共に、新規物質申請制度が制定されており、申請制度内容及び安全性の判断について説明する。

【講師経歴】2014年6月まで大日本印刷株式会社にて包装材料の開発、包装設計に従事。2016年6月まで、容器包装に関する業界団体に所属、2016年7月より藤井包装技術事務所を開設。【著書】機能性・環境対応型包装材料の新技術、抗菌抗カビ技術と応用、欧米の食品用容器包装法規制の動向、包装材料における環境対応、環境配慮型容器包装の開発動向、EUにおける容器包装規制 等

開催日時	2022年3月1日(火) 10:30～16:30	※本セミナーは、当日ビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。推奨環境は当該ツールをご参照ください。後日、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。詳細は裏面をご覧ください。 ★受講中の録音・撮影等は固くお断りいたします。
受講料	50,600円(税込) ※資料付 *メルマガ登録者 45,100円(税込) *アカデミック価格 26,400円(税込)	

\*アカデミック価格:学校教育法にて規定された国、地方公共団体、および学校法人格を有する大学、大学院の教員、学生に限りです。  
★2名以上同時申込かつ申込者全員メルマガ会員登録をしていただいた場合、1名あたりの参加費がメルマガ会員価格の半額となります。  
★【セミナー講師】・食品メーカー・容器包装メーカー・樹脂メーカー・色材メーカー・添加剤メーカー・印刷・プリンターメーカー等 ★【得られる知識】・日本: ポジティブリスト制度対象物質、適応範囲、容器包装事業者の義務、経過措置、ポジティブリストの動向、PL制度等 ・欧州: 食品と接触することを意図した食品包装規制(プラスチック規則)、プラスチック規則ガイドライン ・米国: 食品包装規制(FFDCA、連邦規則集)、米国新規物質登録制度(FCN)

### 【本セミナーのプログラム】

※適宜休憩が入ります。

<p><b>1. 日本における容器包装規制</b></p> <p>1.1 容器包装に関する食品衛生法改正</p> <p>1.1.1 改正食品衛生法概要、1.1.2 ポジティブリスト制度概要</p> <p>1.2 法改正による追加義務</p> <p>1.2.1 ポジティブリスト収載物質に限定 a 規制内容 b 対象範囲</p> <p>1.2.2 器具又は容器包装を製造する営業の施設の衛生的な管理 (GMP) 1.2.3 情報伝達の実施 a PL制度適合 b 経過措置適合 c 食品衛生法適合 1.2.4 器具・容器包装製造事業者(委託含む)の届出</p> <p>1.3 ポジティブリスト収載物質</p> <p>1.3.1 収載物質の一般規格 1.3.2 ポジティブリスト規定方法</p> <p>1.3.3 ポジティブリスト形式 1.3.4 ポジティブリスト掲載物質 a ポリマー b コーティング材 c 添加剤・塗布剤</p> <p>1.4 ポジティブリスト未収載物質 (必要情報の確認中物質リスト)</p> <p>1.5 ポジティブリストへの追加申請手続き</p> <p>1.5.1 既存物質 1.5.2 新規物質</p> <p>1.6 PL 掲載物質の規格基準 (现行食品衛生法での規格基準)</p> <p>1.6.1 溶出量の基準値 1.6.2 触媒等の含有量基準値</p> <p>1.7 乳等省令改正</p>	<p>添加剤等 b. 化学物質のグループ規制</p> <p>2) 材料及び製品への規制 3) 食品疑似溶媒 4) 適合宣言</p> <p>5) 適合試験 (特殊移行量試験、総移行量試験、換算係数 (FRP) )</p> <p>6) 多層材料及び製品の規則</p> <p>2.1.3 プラスチック規則のガイドライン</p> <p>1) プラスチック規則の全般的なガイドライン</p> <p>2) サプライ・チェーンにおける情報に関するガイドライン</p> <p>2.2 新規物質の申請ガイドライン</p> <p>2.3 安全性評価</p>
<p><b>2. 欧州における容器包装の法規制</b></p> <p>2.1. EUにおける法規制</p> <p>2.1.1 総合的規則</p> <p>・加盟各国の共通の基本原則 (特別法令の採択、適合宣言等)</p> <p>2.1.2 プラスチック規則 (食品に接触することを意図するプラスチック材料及び製品の欧州規則)</p> <p>1) 化学物質ポジティブリスト</p> <p>a. 認可されたモノマ、他の出発物質、微生物醗酵高分子、</p>	<p><b>3. 米国における法規制と安全性試験・評価</b></p> <p>3.1 米国における法規制</p> <p>3.1.1 連邦食品医薬品化粧品法 (FFDCA)</p> <p>3.1.2 容器包装関連の連邦規則集</p> <p>1) ポジティブリスト a. 間接食品添加物: 接着剤、缶コーティングなど</p> <p>b. 間接食品添加物: 紙及び板紙の成分 c. 間接食品添加物: ポリマー</p> <p>オレフィンポリマー、ナイロン、PET、ポリスチレン等の概説</p> <p>d. 間接食品添加物: 添加物、製造助剤、殺菌剤</p> <p>3.2 FDA 認可申請制度</p> <p>FCN 制度 (食品接触物質上市前届出制度)、FAP 登録制度</p> <p>3.3. 安全性評価</p> <p>推定摂取量及び毒性試験</p>
<p><b>4. 日・米・欧の比較</b></p> <p>4.1 ポジティブリスト制度</p> <p>4.2 新規物質申請制度</p> <p>4.3 食事中濃度算出及び毒性試験</p>	

弊社記入欄		<b>ウェビナー申込書</b>	
セミナー名		日米欧における食品包装規制の最新動向 (3/1)	
所定の事項にご記入下さい <b>メルマガ会員、登録希望の場合は○↓</b>	会社名 (団体名)	TEL :	
	住所 〒	FAX :	
		E-mail :	
会員登録済み	新規登録希望	部署	役職
お支払方法		銀行振込 ・ その他	氏名
		お支払予定	年 月 日頃

■申込方法: セミナー申込書にご記入の上 FAX または E-mail (re@cmcre.com) でお申し込みください。  
■セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりません。ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。  
■申込先: (株)シーエムシー・リサーチ 東京都千代田区神田錦町 2-7 TEL: 03-3293-7053  
■本セミナーの関連情報は、弊社HPでもご覧いただけます。⇒ <https://cmcre.com>

**参加申込 FAX 番号**  
**03-3291-5789**

2022年3月1日（火）開催

# 日米欧における食品包装規制の最新動向

～日本のポジティブリスト制度 2020年6月1日施行 2025年6月1日完全施行～

**講師：藤井均氏（藤井包装技術事務所 所長）**

**当該セミナーは、ライブ配信のウェビナー（オンラインセミナー）です！**

## 【ライブ配信対応セミナー】

- 本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信セミナーとなります。お申し込み前に、下記 URL より視聴環境をご確認ください。  
→ <https://zoom.us/test>
- 当日はリアルタイムで講師へのご質問も可能です。
- タブレットやスマートフォンでも視聴できます。
- お手元の PC 等にカメラ、マイク等がなくてもご視聴いただけます。この場合、音声での質問はできませんが、チャット機能、Q&A 機能はご利用いただけます。
- ただし、セミナー中の質問形式や講師との個別のやり取りは講師の判断によります。ご了承ください。
- 「Zoom」についてはこちら↓をご参照ください。

<https://zoom.us/jp-jp/meetings.html>

## 【お申込み後の流れ】

- 開催前日までに、ウェビナー事前登録用のメールをお送りいたします。お手数ですがお名前とメールアドレスのご登録をお願いいたします。
- 事前登録完了後、ウェビナー参加用 URL をお送りいたします。
- セミナー開催日時に、参加用 URL よりログインいただき、ご視聴ください。
- 講師に了解を得た場合には資料を PDF で配布いたしますが、参加者のみのご利用に限定いたします。他の方への転送、WEB への掲載などは固く禁じます。
- 資料を冊子で配布する場合は、事前にご登録のご住所に発送いたします。開催日時に間に合わない場合には、後日お送りするなどの方法で対応いたします。

## 【注意事項】

- 本セミナーの受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

<https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC->

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%81%E4%BB%B6](#)

- Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。
- インターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声が悪化する場合があります。また、状況によっては、講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。
- 万が一、当社や講師側（開催側）のインターネット回線状況や設備機材の不具合により、開催を中止した場合には、受講料の返金や、状況により後日録画を提供すること等で対応させていただきます。
- 本セミナーはお申し込みいただいた方のみ受講いただけます。  
複数端末から同時に視聴することや複数人での視聴は禁止いたします。
- 受講中の録音・撮影等は固く禁じます。
- Zoom のグループにパスワードを設定しています。お申込者以外の参加を防ぐため、パスワードを外部に漏洩しないでください。  
万が一外部者が侵入した場合は管理者側で外部者の退出あるいはセミナーを終了いたします。